

# 私たちの想いを実現できる地域に —みんなでつくる福知山のこれから—

令和8年3月18日  
福知山公立大学 木村昭興

# 木村 昭興 (昭和48年7月12日生)

## 自己紹介

➤ 平成5年 大阪府柏原市に奉職

( 職場の遍歴 )

- ・ 教育委員会事務局 学務課
- ・ 財務部 契約検査課
- ・ 会計管理室
- ・ 経済環境部 環境保全課
- ・ 政策推進部 企画調整課
- ・ 都市整備部 公園緑地課
- ・ 財務部 課税課

➤ 平成30年 東洋学園大学 現代経営学部

➤ 令和5年 福知山公立大学 地域経営学部

公共経営、行政学、会計学、管理会計

# 本日の内容

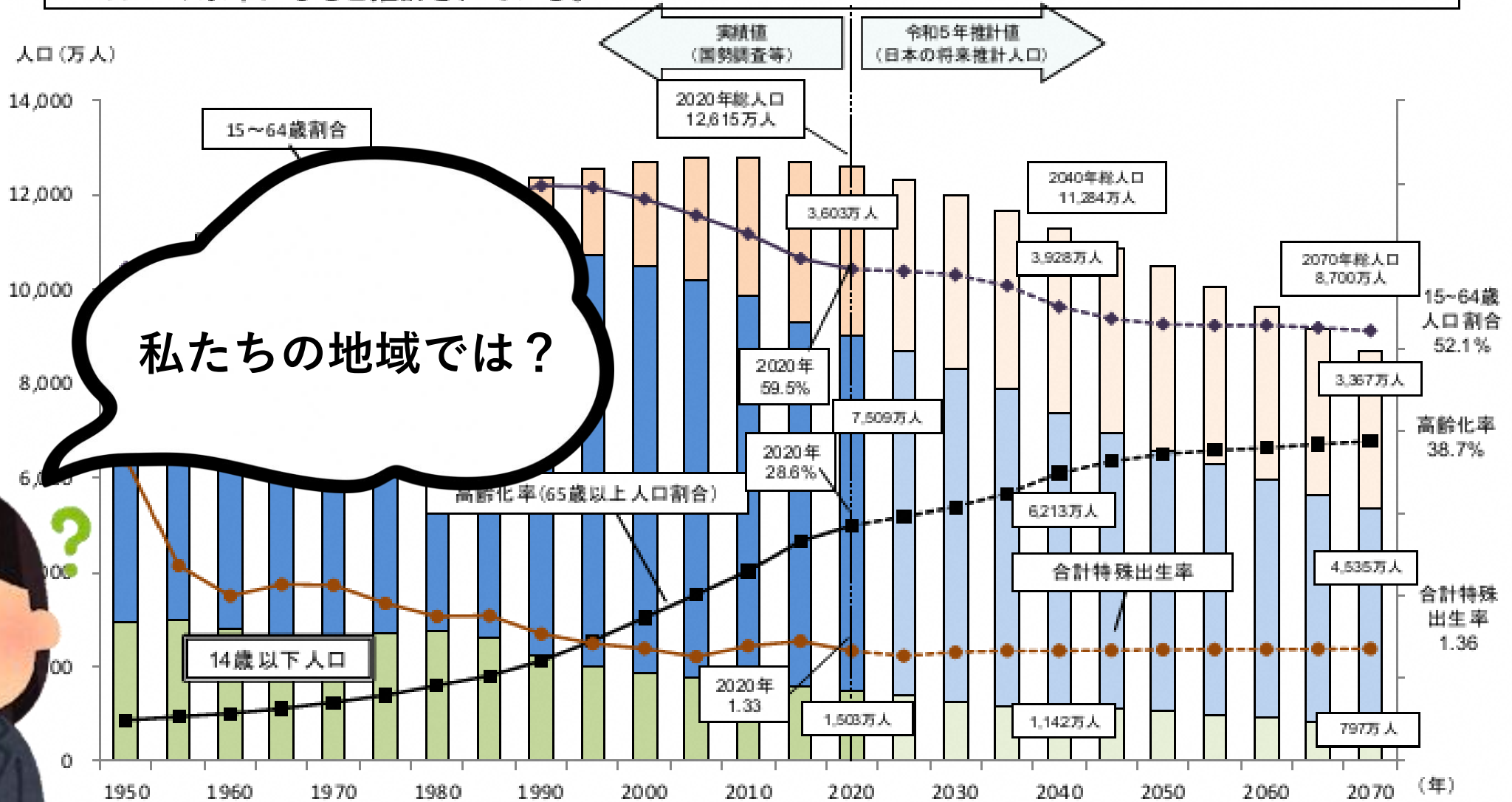


- 1 今なぜ、地域で考えるのか？
- 2 私たちの暮らしの中で見えてきた課題
- 3 人と人がつながる地域づくり
- 4 私たちが目指す地域の姿
- 5 みんなでつくる福知山のこれから

# 1. 今なぜ、地域で考えるのか？

# 1-1 日本の地域で起きている現象

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「出生中位(死亡中位)推計」

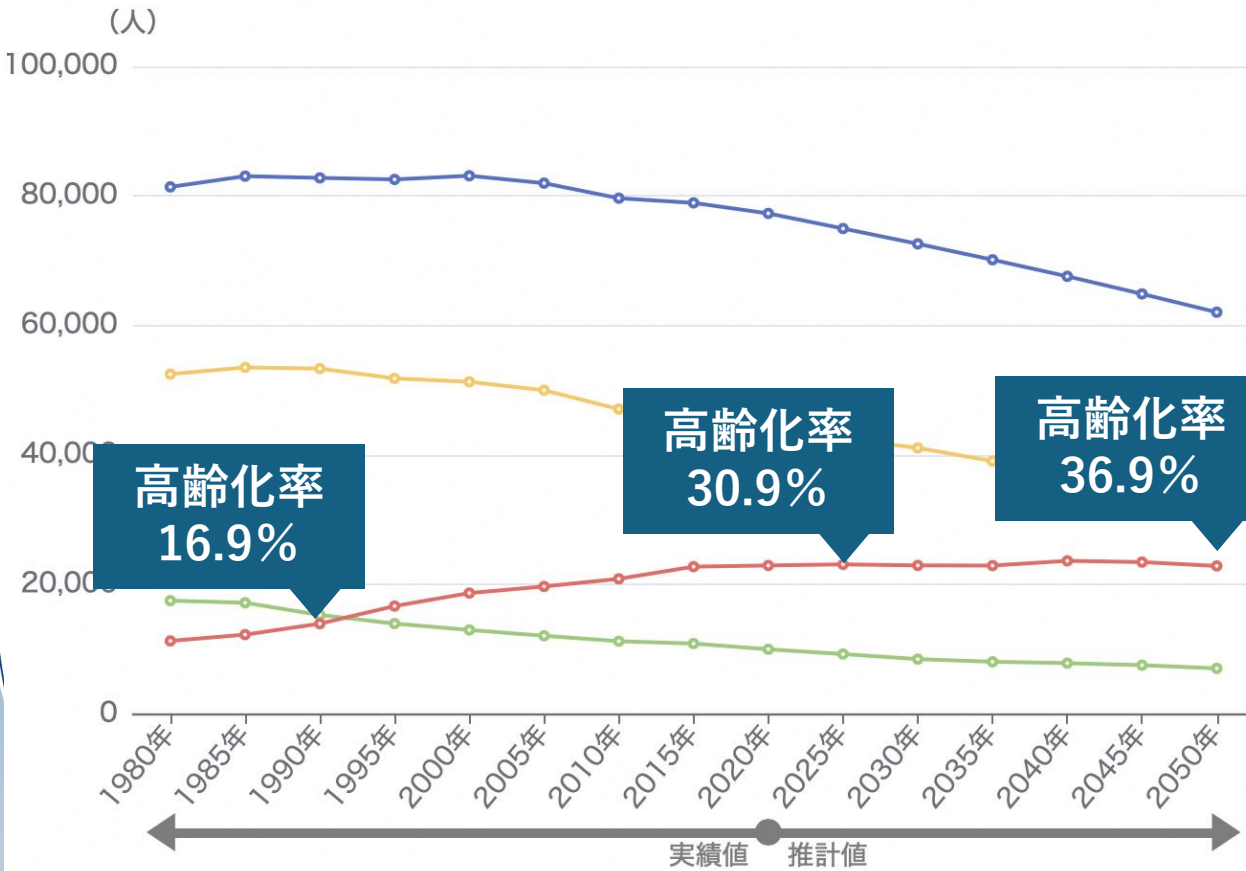


# 1-1 日本の地域で起きている現象

## 人口推移グラフ

京都府福知山市

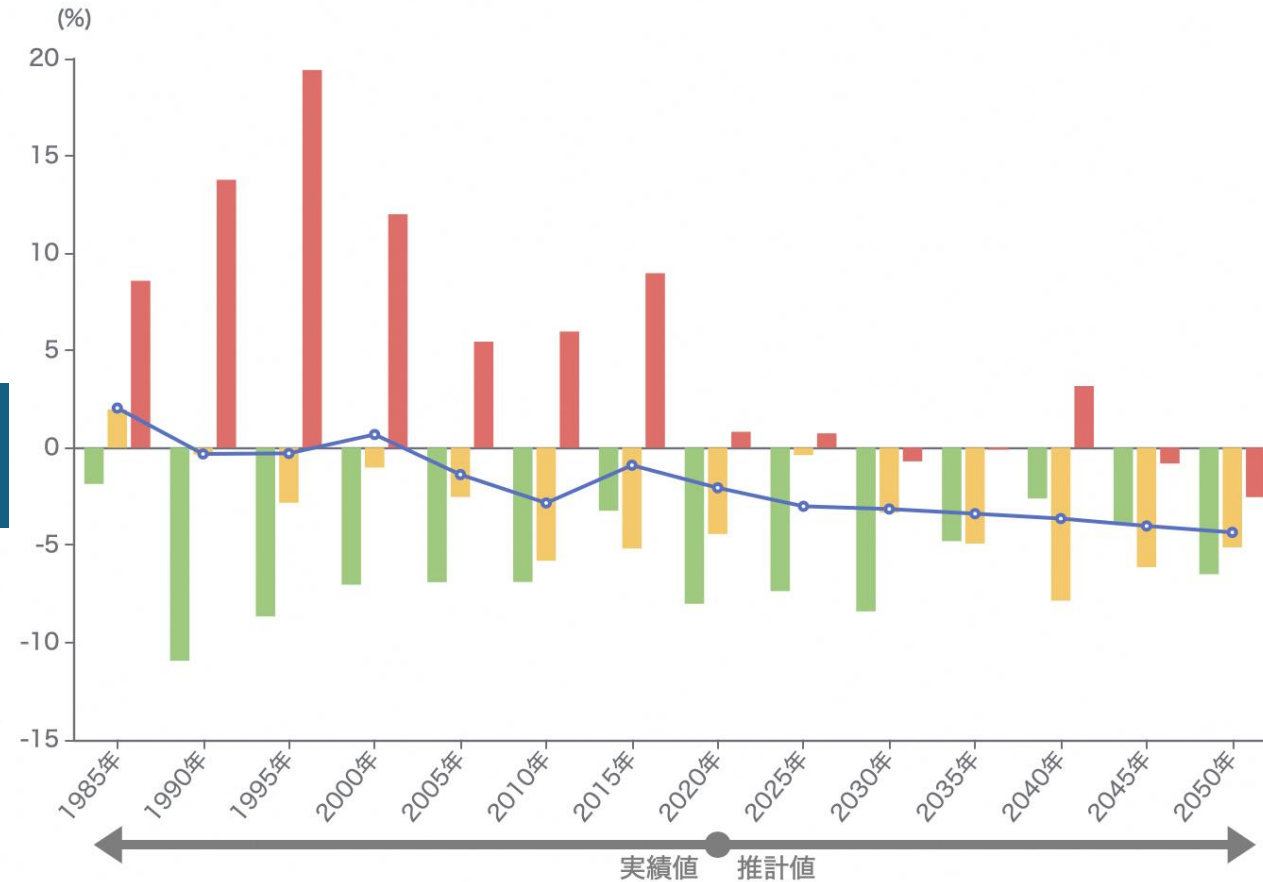
○ 総人口 ○ 年少人口 ○ 生産年齢人口 ○ 老年人口



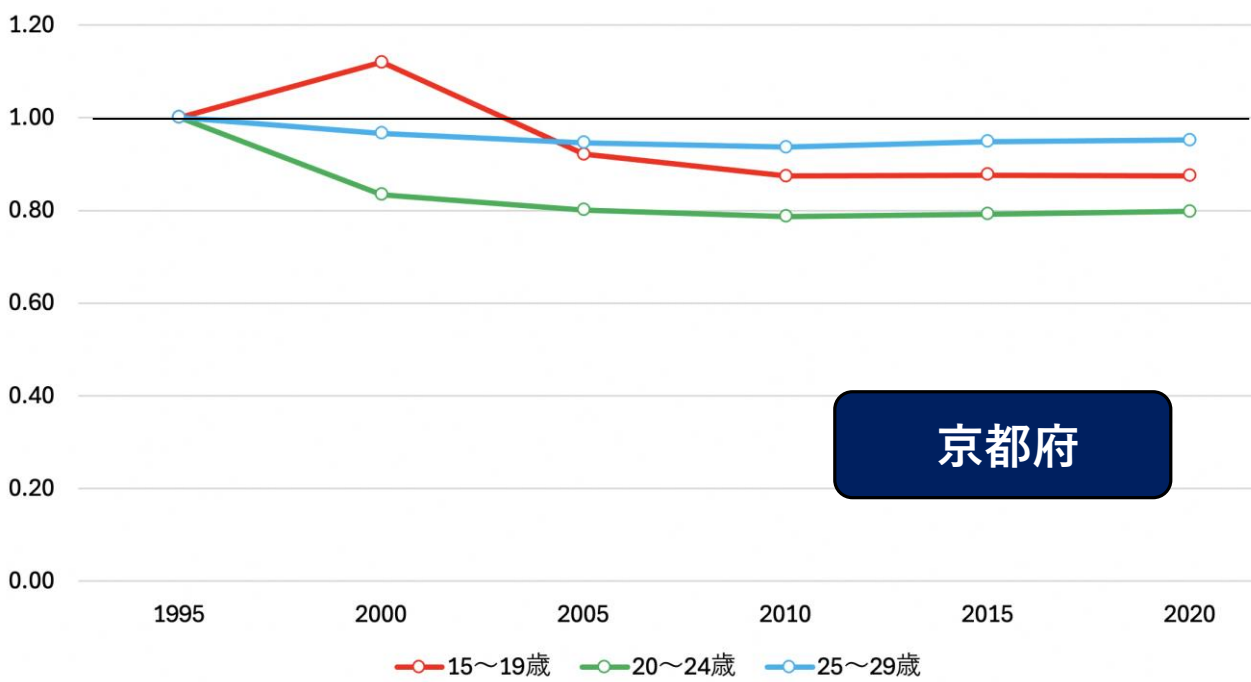
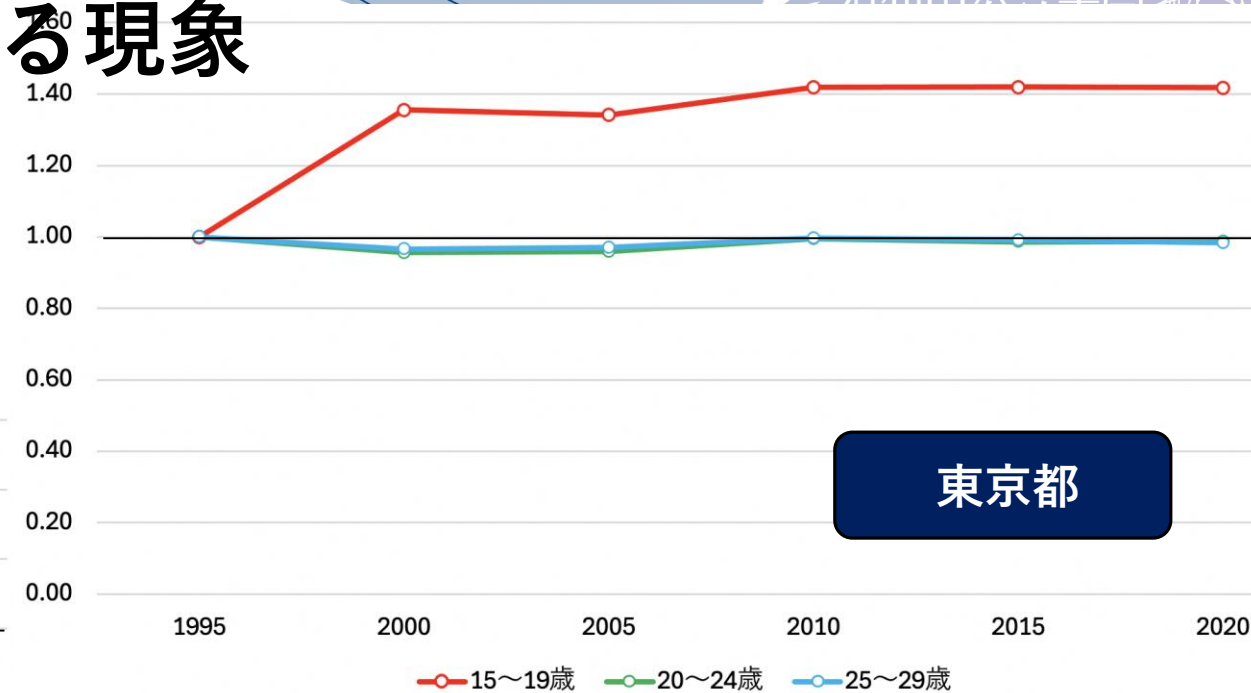
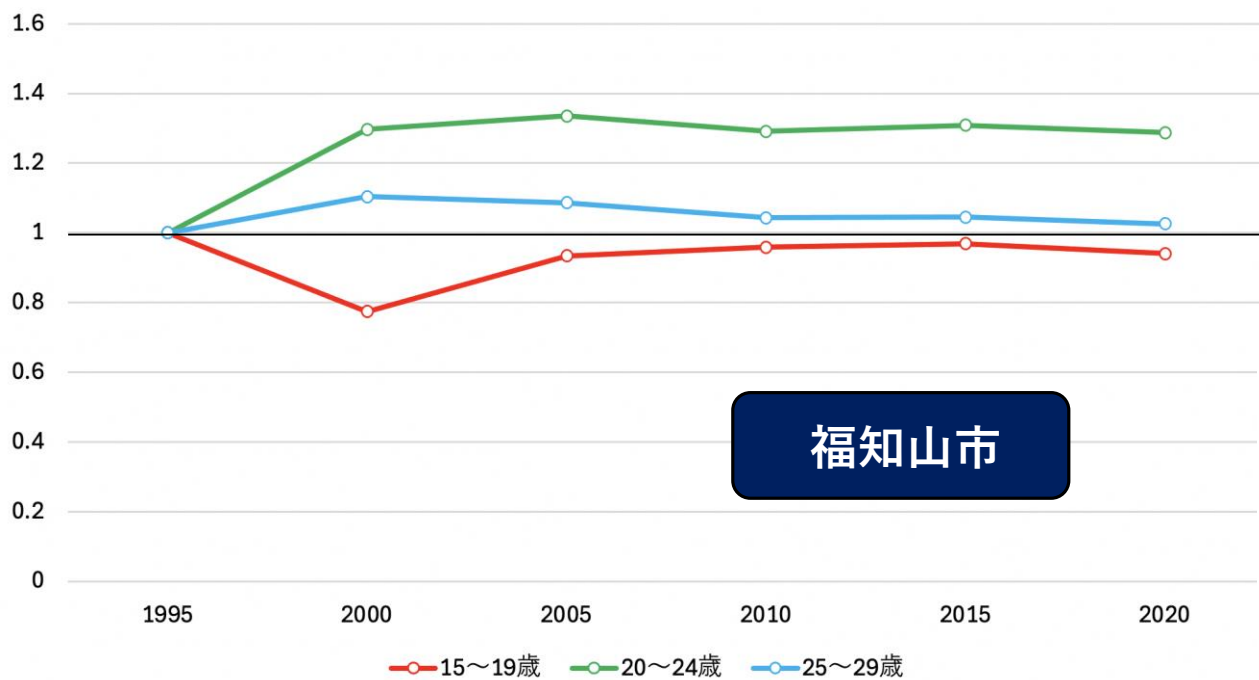
## 人口増減

京都府福知山市

○ 総人口 ○ 年少人口 ○ 生産年齢人口 ○ 老年人口

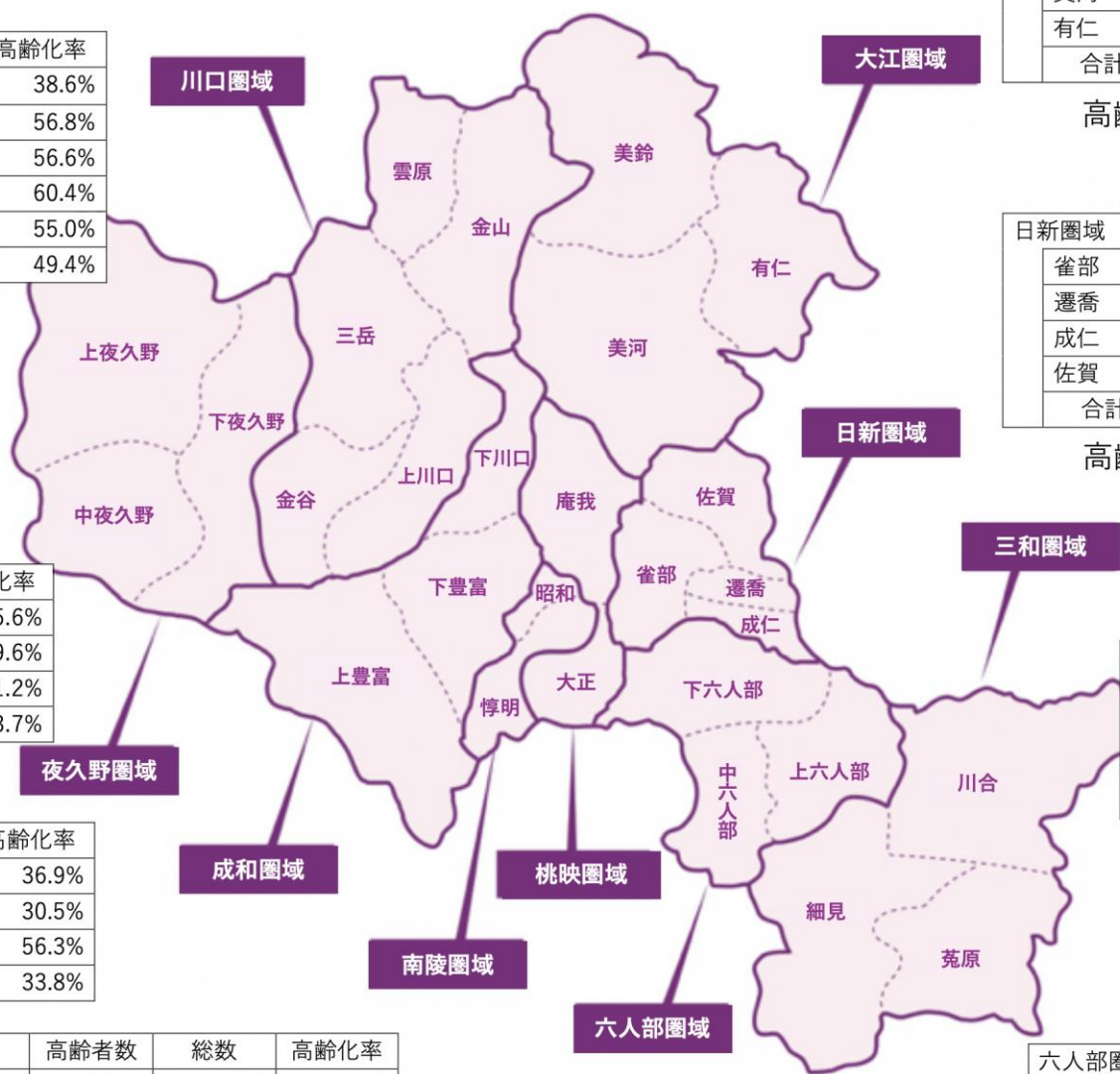


# 1-1 日本の地域で起きている現象



# 9 圏域における高齢化の現状

福知山市日常生活圏域図



| 川口圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|------|-------|-------|-------|
| 上川口  | 527   | 1,365 | 38.6% |
| 金谷   | 519   | 913   | 56.8% |
| 三岳   | 235   | 415   | 56.6% |
| 金山   | 200   | 331   | 60.4% |
| 雲原   | 116   | 211   | 55.0% |
| 合計   | 1,597 | 3,235 | 49.4% |

高齢化率 ( 49.4% )

| 大江圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|------|-------|-------|-------|
| 美鈴   | 367   | 690   | 53.2% |
| 美河   | 923   | 2,347 | 39.3% |
| 有仁   | 460   | 898   | 51.2% |
| 合計   | 1,750 | 3,935 | 44.5% |

高齢化率 ( 44.5% )

| 日新圏域 | 高齢者数  | 総数     | 高齢化率  |
|------|-------|--------|-------|
| 雀部   | 2,087 | 8,278  | 25.2% |
| 遷喬   | 1,135 | 4,785  | 23.7% |
| 成仁   | 659   | 3,977  | 16.6% |
| 佐賀   | 317   | 641    | 49.5% |
| 合計   | 4,198 | 17,681 | 23.7% |

高齢化率 ( 23.7% )

| 夜久野圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|-------|-------|-------|-------|
| 上夜久野  | 689   | 1,240 | 55.6% |
| 中夜久野  | 303   | 611   | 49.6% |
| 下夜久野  | 623   | 1,216 | 51.2% |
| 合計    | 1,615 | 3,067 | 53.7% |

高齢化率 ( 53.7% )

| 三和圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|------|-------|-------|-------|
| 菟原   | 517   | 994   | 52.0% |
| 細見   | 634   | 1,507 | 42.1% |
| 川合   | 283   | 547   | 51.7% |
| 合計   | 1,434 | 3,048 | 47.0% |

高齢化率 ( 47.0% )

| 成和圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|------|-------|-------|-------|
| 上豊富  | 625   | 1,692 | 36.9% |
| 下豊富  | 2,136 | 6,998 | 30.5% |
| 下川口  | 433   | 769   | 56.3% |
| 合計   | 3,194 | 9,459 | 33.8% |

高齢化率 ( 33.8% )

| 南陵圏域 | 高齢者数  | 総数     | 高齢化率  |
|------|-------|--------|-------|
| 惇明   | 2,355 | 9,680  | 24.3% |
| 昭和   | 2,355 | 10,660 | 22.1% |
| 合計   | 4,710 | 20,340 | 23.2% |

高齢化率 ( 23.2% )

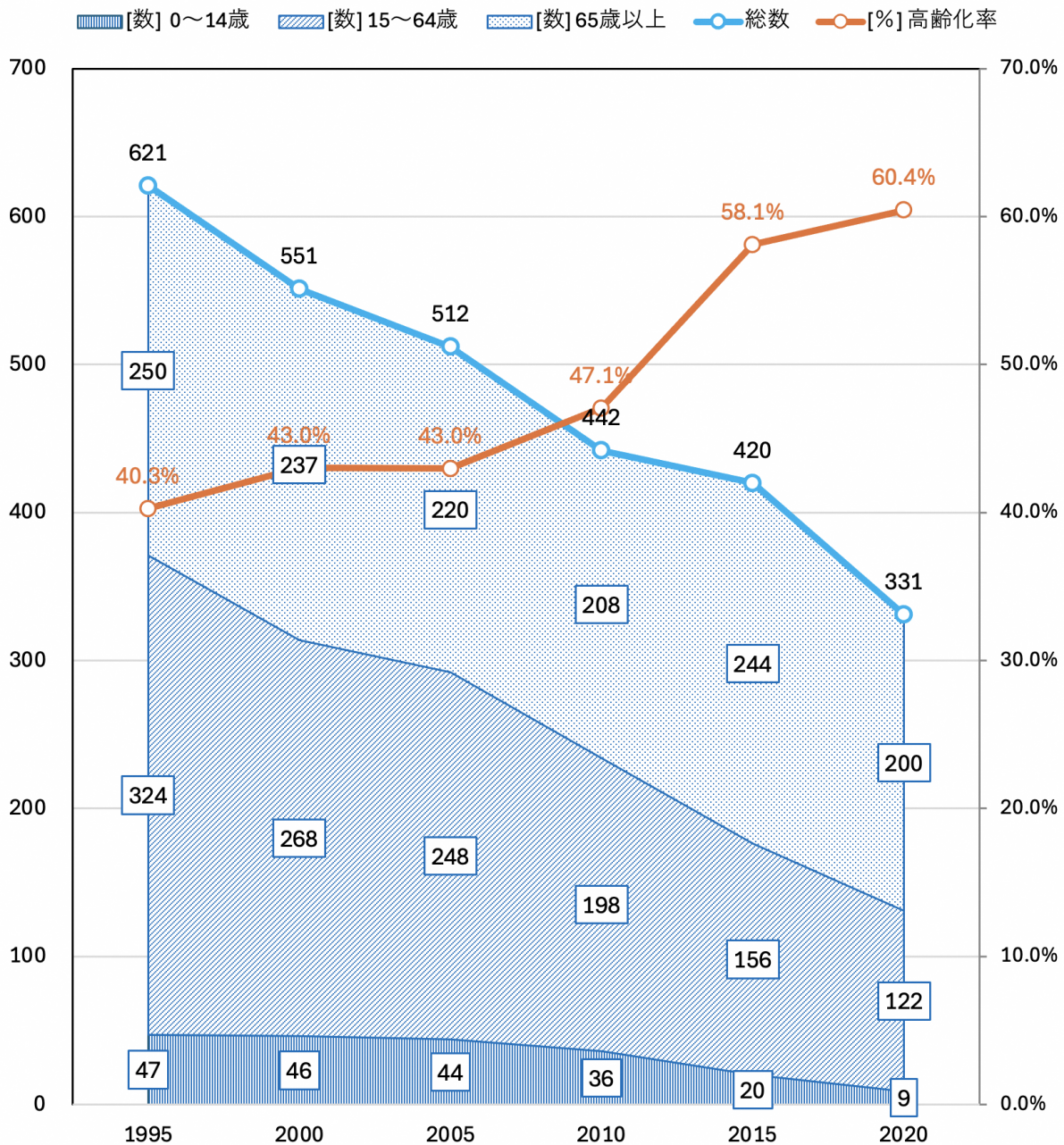
| 桃映圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|------|-------|-------|-------|
| 大正   | 1,705 | 7,477 | 22.8% |
| 庵我   | 956   | 2,104 | 45.4% |
| 合計   | 2,661 | 9,581 | 27.8% |

高齢化率 ( 27.8% )

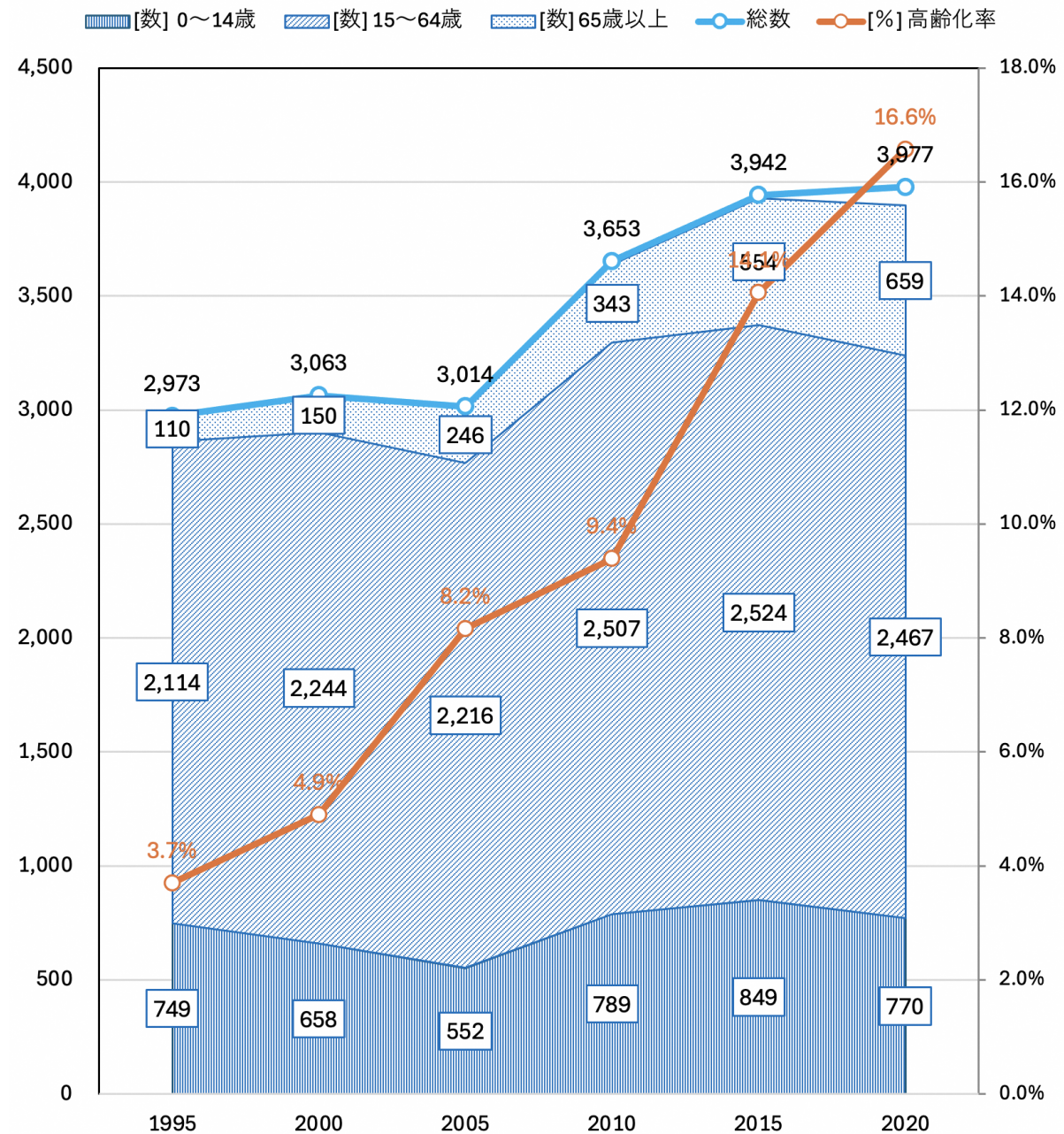
| 六人部圏域 | 高齢者数  | 総数    | 高齢化率  |
|-------|-------|-------|-------|
| 上六人部  | 421   | 920   | 45.8% |
| 中六人部  | 375   | 724   | 51.8% |
| 下六人部  | 1,019 | 5,316 | 19.2% |
| 合計    | 1,815 | 6,960 | 26.1% |

高齢化率 ( 26.1% )

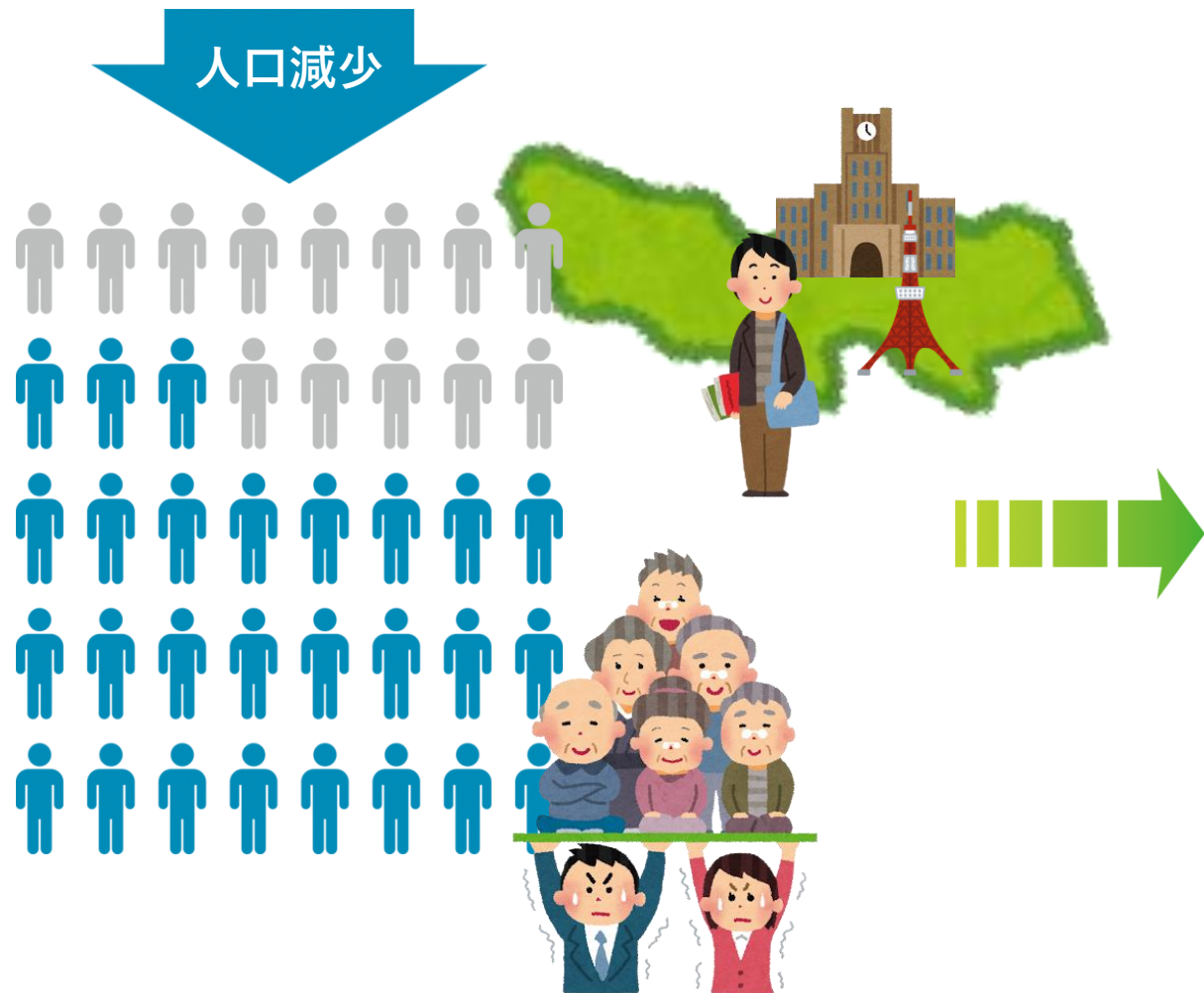
# 川口圏域：金山



# 日新圏域：成仁



# 1-1 日本の地域で起きている現象



- 地域の担い手が減少
- 地域活動の継続が難しい
- 買い物や通院など日常生活にも影響

地域の課題

地域の力が大切

# 1 - 2 市民生活の社会的なリスク

## ■地域活動のあり方

- 自治会役員の担い手不足や超高齢化
- 免許返納後の自家用車のない日常生活
- ICT活用が前提となる社会での情報リテラシー
- 地域活動の核となってきた小学校の廃校

## ■子どもの育み

- 相談・交流相手のいない子育て世帯
- 身近な場において限りのある障害のある子どもへの支援
- 児童虐待やネグレクト、望まない妊娠など、見えづらい問題
- 保育・福祉人材の確保・充足の困難さ
- 就学前の保育・教育に対して高まるニーズ

## ■健康・生きがい

- 健康が大切だと認識していても行動につながらない健康づくり
- 仕事以外の人間関係を構築する時間や機会の限られた現役世代
- 様々なストレスが蔓延する中での身体的、精神的、社会的な健康の維持・増進の難しさ

## ■魅力的な働き方

- 出産、育児、介護によって離職せざるを得ない現実
- 定年後も働き続けられる継続的なスキルアップや雇用の機会
- 起業の機会や時代に合った多様な働き方の選択肢の少なさ

## ■自然環境・地域資源の保全・活用

- 保全、保存するに留まっている魅力ある文化、伝統、景観
- 少なくなる担い手と地域行事の衰微
- 市の文化活動の核となる取組や拠点の不足

## ■自分らしい学び

- 不登校など困難を抱える子どもの学びや社会体験の機会
- 家庭の経済状況に左右される子どもの学び
- 外国語やプログラミングなど変化し続ける教科学習への対応
- 教職員に求められる役割の増加と経験豊富な教員の大量退職

## ■最期まで生き生きとした暮らし

- 高齢者のみ世帯における老々介護
- 定年後の生きがいや活躍の場のない暮らし
- 高まり続ける介護ニーズに対する介護人材の確保・充足の困難さ

## ■地域産業の発展

- 稼ぐ力の弱い経営をしている農林水産業者
- 時代、ニーズの変化により需要を失った企業・事業者
- 健全経営を維持しているにも関わらず、後継者不在による廃業

## ■地域活動のあり方

- 自治会役員の担い手不足や超高齢化
- 免許返納後の自家用車のない日常生活
- ICT活用が前提となる社会での情報リテラシー
- 地域活動の核となってきた小学校の廃校

## ■健康・生きがい

- 健康が大切だと認識していても行動につながらない健康づくり
- 仕事以外の人間関係を構築する時間や機会の限られた現役世代
- 様々なストレスが蔓延する中での身体的、精神的、社会的な健康の維持・増進の難しさ

## ■最期まで生き生きとした暮らし

- 高齢者のみ世帯における老々介護
- 定年後の生きがいや活躍の場のない暮らし
- 高まり続ける介護ニーズに対する介護人材の確保・充足の困難さ

## 2. 私たちの暮らしの中で見えてきた課題

# 2-1 委員会における議論

|      |  |
|------|--|
| 提案1  | 生活実感を入力に、地域のことを「自分事」として考えるきっかけとなる対話の場をつくろう |
| 提案16 | 自動車がなくとも、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みをつくろう      |
| 提案17 | 身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう      |
| 提案18 | 医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう  |

## 第1回 (8/26)



### ① 生活実感の洗い出し

- ・地域で感じていることを出し合う

## 第2回 (10/21)



### ② 現状から見える課題

- ・地域で起きている問題を整理

## 第3回 (1/22)



### ③ どうあるべきか

- ・これからの地域の姿を考える

## 講演会 (3/18)



### ④ 議論の報告

# 2 - 2 議論の中で見えてきた課題

## 3 対話の場の現状から見える課題

➤ 議論を整理すると、次のような課題が見えてきました。

- ① 参加者の偏り
  - ・ 女性中心、若者や男性が少ない
- ② 担い手の負担
  - ・ 主催者に負担が集中
- ③ 集まる場所の減少
  - ・ 地域の拠点が減少
- ④ 世代間の分断
  - ・ 中間世代が少ない

## 3 現状から見える課題

➤ 議論を整理すると、次のような課題が見えてきました。

- ① 移動手段の不足
  - ・ バスの本数が少なく、地域によっては移動手段が限られている。
  - ・ 地域内交通（鬼タクなど）は運行範囲に制限がある。
- ② 車がないと生活できない
  - ・ 買い物や通院などの日常生活において、車がないと移動が困難
  - ・ 高齢になり、運転ができなくなると、生活への不安が大きい
- ③ 地域の拠点的減少
  - ・ 施設の統廃合により、地域で集まれる場所が少なくなっている。
  - ・ 人が集まり、サービスを受けられる拠点が不足している。
- ④ サービスや情報が分散している
  - ・ 移動販売や地域交通などのサービスはあるが、場所や時間、情報がまとまっておらず、利用しにくい。

## 3 現状から見える課題

➤ 議論を整理すると、次のような課題が見えてきました。

- ① 活動できる人とできない人の差
  - ・ 高齢になるほど、外出や運動が難しくなる人が増加している。
- ② 男性の孤立
  - ・ 女性は地域の集まりに参加する機会が比較的多いが、男性は退職後に地域とのつながりが少なく、孤立しやすい
- ③ 外出機会の減少
  - ・ 冬場や雨の日などは外出しにくく、家にこもりがちになり、活動量が減る。コロナ禍以降、地域の集まりが減った。
- ④ 交流の場の不足
  - ・ 地域には活動があるものの、誰でも気軽に集まれる場が十分とは言えない。

- a. 地域の担い手が減少/負担増
- b. 集まる場/交流の場の不足
- c. 移動手段の不足/外出機会の減少
- d. サービスや情報の分散

## 2 - 2 議論の中で見えてきた課題

### a. 地域の担い手が減少/負担増

地域活動を支える人が少なくなっている

- 自治会役員等の担い手が不足
- 同じ人が何度も役員を担う
- 地域活動の負担が一部の人に集中

地域活動を続けることが難しくなっている

## 2 - 2 議論の中で見えてきた課題

### b. 集まる場/交流の場の不足

地域で集まる機会が少なくなっている

- 地域行事の参加者の減少
- 集まる場所の減少
- 世代を超えた交流の機会が少ない

地域の中で顔の見える関係が作りにくくなっている

## 2 - 2 議論の中で見えてきた課題

### c. 移動手段の不足/外出機会の減少

高齢化の進行により、移動の課題が大きくなっている

- 公共交通の減少
- 車を運転できない高齢者の増加
- 移動手段の確保が難しい

外出の機会が減少し、地域での活動や交流にも影響している

### d. サービスや情報の分散

行政や地域団体による様々なサービスや支援がある

- 必要な情報が届きにくい
- 支援制度が分かりにくい
- 相談先が分からない

必要な支援につながりにくい状況が生まれている

## 2 - 2 議論の中で見えてきた課題

- a. 地域の担い手が減少/負担増
- b. 集まる場/交流の場の不足
- c. 移動手段の不足/外出機会の減少
- d. サービスや情報の分散

こうした課題の背景には、

「人と人のつながりの弱まり」

# 3. 人と人がつながる地域づくり

# 3 - 1 人と人がつながる地域

では、  
どうすれば良いの？



# 3 - 1 人と人がつながる地域

人と人がつながる  
仕組みをつくる

【3つの視点】  
対話・拠点・健康



# 3 - 2 仕組みづくりの視点

## Aグループ

### 対話の重要性

地域を「自分事」  
として考える場

- 人
  - 活動
  - 場所
- } つなぐ

地域の可能性

## Bグループ

### 暮らしを支える拠点

人が集まり、活動が生まれる  
場所をつくる

- 交流
  - 買い物
  - 情報共有
- } できる

地域資源の活用

## Cグループ

### 健康づくり

健康づくりは  
医療だけでは実現できない

- 外出
  - 交流
  - 役割
- } ポイント

きっかけ

# 3 - 3 島根県雲南市の事例

○廃校となった小学校を活用した「波多交流センター」の指定管理業務を「波多コミュニティ協議会」が受託し、高齢者等を中心としたサロンや週に一度の喫茶デーなどを開催するとともに、地域内交通を担い高齢者等の移動を支援。  
○H26に地区唯一の個人商店が閉店となり、高齢者等の買い物が不便となったことから、協議会が交流センター内に店舗「はたマーケット」を開設して運営を開始。

### 地域概況

- 人口317人、139世帯、高齢化率52.4% (H27)
- 雲南市の南西端に位置する山あいの地区で、以前は宿場町として発展
- 人口はS30頃をピークに減少
- H20に小学校が廃校となり活用方法が課題に
- H26に、地区で唯一の個人商店が閉店

### 市の地域コミュニティ政策

- H16の6市町村の合併の際、集落機能を補完する新たな自治組織の確立と地域の主体性に基づく組織化に向けて「地域自主組織」の方向性を提示
- H17~19に、市内全域で地域自主組織の設立を支援


### 取組内容

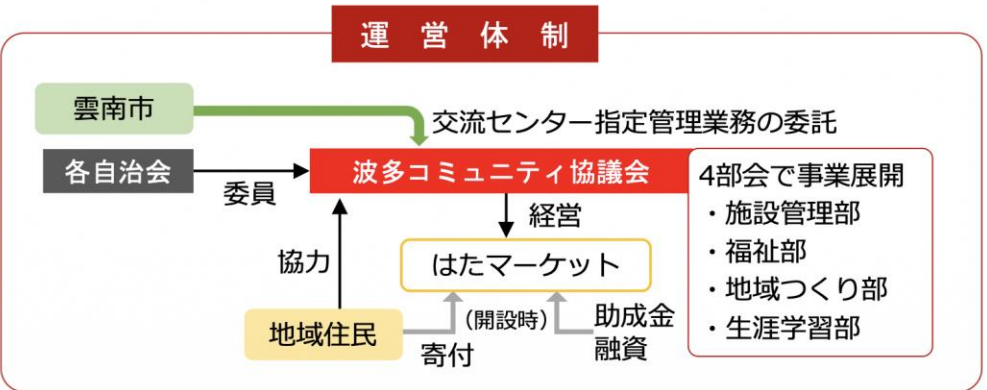
#### 波多交流センターの運営

- H22より雲南市から波多交流センターの指定管理業務を「波多コミュニティ協議会」が受託し、住民の交流につながる様々な取組を実施。
  - ・サロン：買い物に来た高齢者が、お茶を飲みながら交流できるよう各種催しを開催
  - ・喫茶デー：ほぼ週に一度、高齢者等が気軽に交流できる場を提供
  - ・自主防災会を設置し「くらしの安心カード」などを整備

#### 「はたマーケット」の運営

- H26に地区に商店がなくなったことを受け、波多コミュニティ協議会が管理する波多交流センター内の教室1室を利用して店舗を開設し、運営を開始。
- 開設以来、採算ベースに乗せて運営。（一日平均売上約5万円）





# 3 - 3 福知山市六人部地域の事例 (対話から始まる)

楽しいまちを皆んなで創ろう！  
六人部について語り合う「夢の語り場」



六人部  
おしゃべり広場  
ミライトーク

話そう、私たちの未来

会場  
六人部地域公民館

**開催日**

- ① 7月10日(木) 19時00分～
- ② 7月26日(土) 10時00分～
- ③ 8月27日(水) 19時00分～

※①と②は同じ内容です  
※各回約1時間半程度を予定しています

**参加できる人(参加無料！)**

六人部地域が好きな人！

- ・お住まいの方
- ・通勤してる方
- ・出身者
- ・興味のある方など



**当日にすること**

**1回目(①、②)**

- Step.1 六人部の魅力を語り合おう！
- Step.2 六人部の魅力が見える化しよう！

**2回目(③)**

- Step.3 やってみたいな、あれがいいな、を語り合おう！
- Step.4 アイデアが生まれる！人が繋がる！

# 3 - 3 福知山市六人部地域の事例（対話から始まる）

## 04 地域住民センターが目指すもの

生涯学習 × 福祉 × まちづくり（地域活動・住民自治） ⇒ 地域共生社会の実現

### 1) 住民にとってより使いやすい、「**新たな活動が生まれる場**」に

新しい担い手を呼び込む場

「多様なまちづくりの担い手」を増やす。

何かやってみたい人に、場所と情報を提供する。

### 2) 地域住民が主体となり、住民が集い、語り、笑い、**住民同士のつながりを生み出す場**となること

人とのつながりは、孤独感や無力感の解消につながると考える。

誰も取り残されない社会を目指すために、社会を作り上げる活動にみんなに参加してもらえるような機会と場を提供する。

### 3-3 福知山市六人部地域の事例（対話から始まる）

[ミライトークで出てきた声]

- 地域で集まる機会が減っている
- 移動手段が少なく外出しにくい
- 担い手が少なくなっている
- 人と人のつながりが弱くなっている

地域の課題

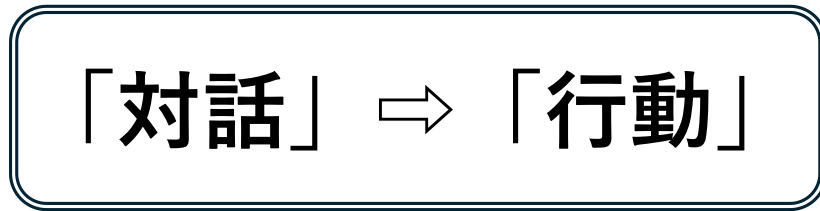
- 地域には、人・活動・場所がまだまだ残っている
- 地域の人同士のつながりが生まれた

新たな気づき

地域の未来をみんな で話し合うこと、

対話が「地域づくり」の第一歩

# 3-4 人と人がつながる地域づくりは、対話から始まる



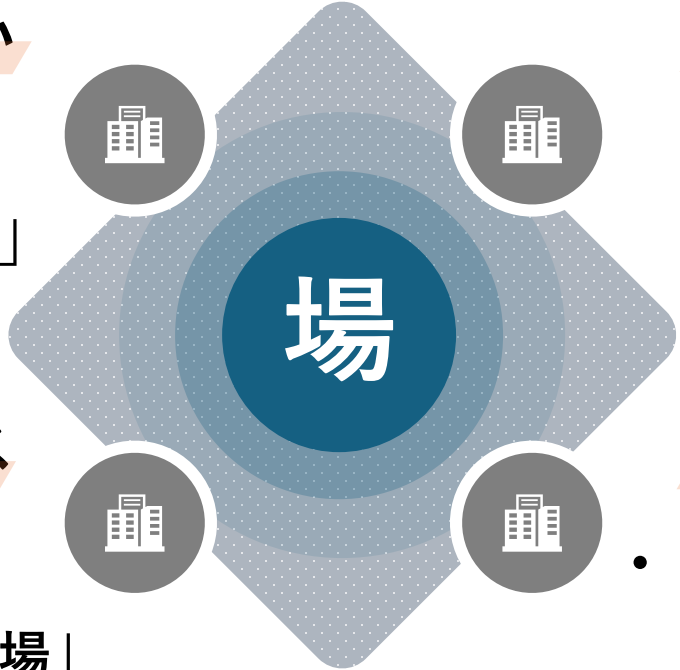
## 4. 私たちが目指す地域の姿

# 4-1 場でつながる/場とつながる

## [場の役割]

### 交流・安心

- 安心できる「居場所」
- 人と人がつながる「交流の場」



### 情報・学び

- さまざまな情報が自然と届くハブ
- 相互学習の機会を創り出す

### 支援・サービス

- 生活支援の拠点
- 暮らしを支える「サービスの場」

### 地域づくり/助け合い

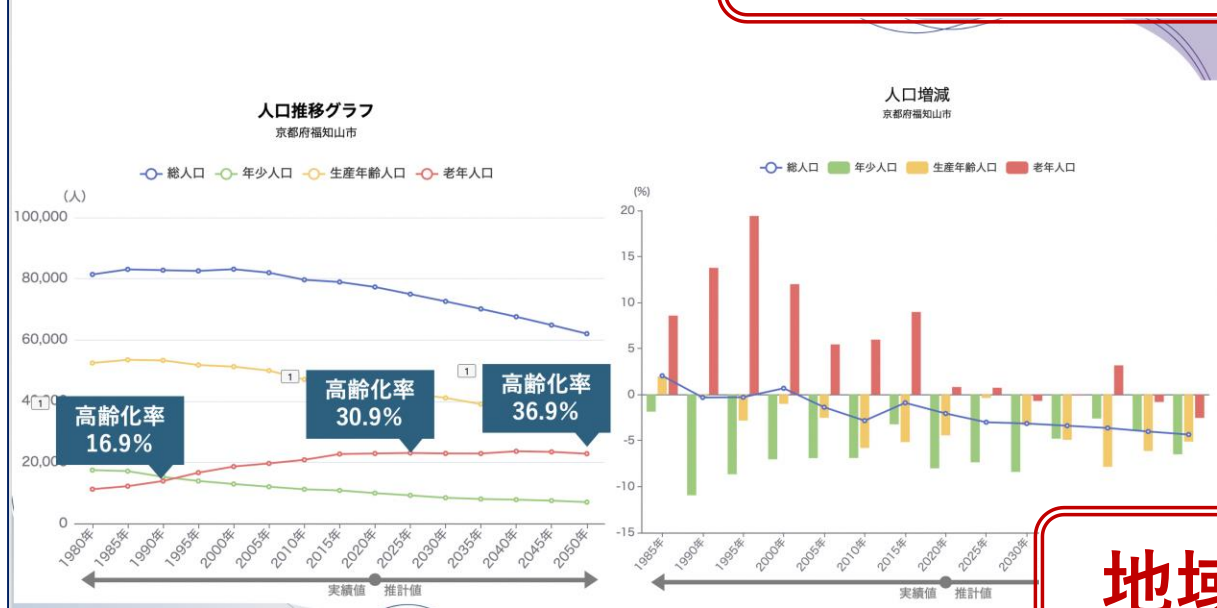
- 日常の出会いと対話の積み重ねが、災害時や緊急時の助け合いにつながる
- 助け合いの仕組みづくりの実験の場

「対話の場」「集いの場」「助け合い（につながる場）」

# 4-2 未来を見据えると（ミライトーク）

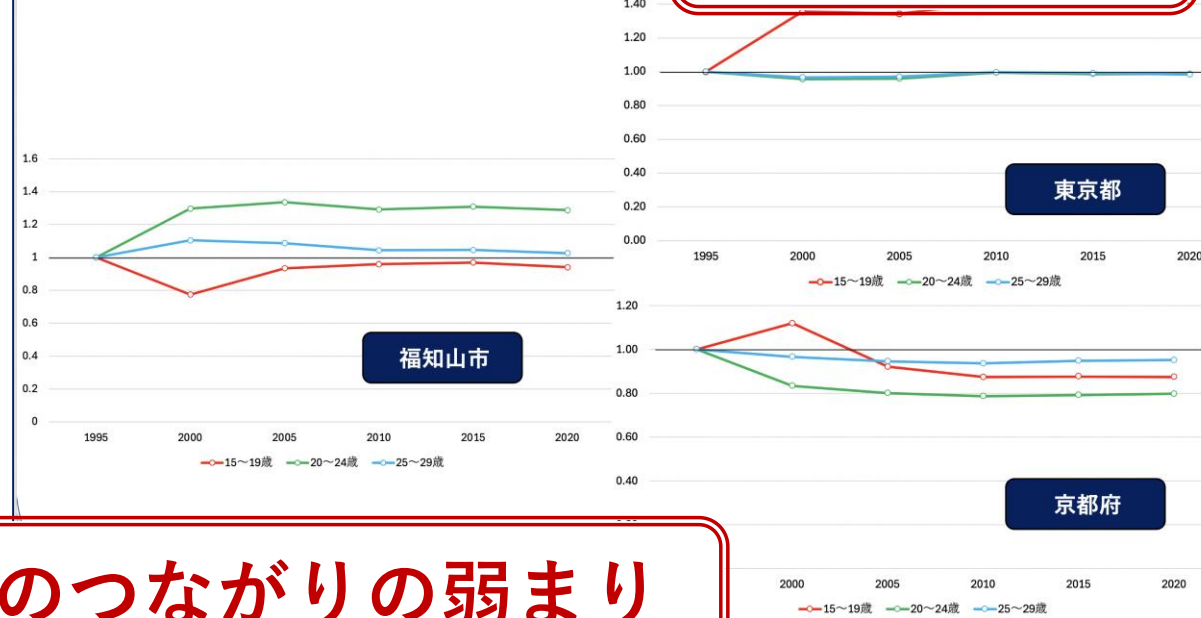
## 人口減少

1-1 日本の地域で起きている現象



## 若者流出

1-1 日本の地域で起きている現象



## 地域のつながりの弱まり

地域づくりは単なる「コミュニティ再生」にとどまらず、人の移動や多様な関わりを受け入れる視点が重要である。

## 4 - 3 私たちが目指すのは？

- 「**支え合い**」と「**開かれたつながり**」が両立する地域である。

「場／場所」は、可能性を生み出す橋渡しの役割」

田所承己(2019)

『場所をつながる／場所とつながる—モビリティ時代のクリエイティブなまちづくり—』学芸出版社

# 5. みんなでつくる福知山のこれから

# 5 - 1 私たちが目指す地域

人が人とつながり

自然と健康づくりができる地域

# 5 - 1 私たちが目指す地域

地域づくりは

行政だけではできない

住民だけでもできない

大切なことは、みんなで作ること

ご清聴ありがとうございました。

福知山公立大学 木村昭興  
Kimura-akinori@fukuchiyama.ac.jp